

■ グループ紹介

古河電気工業株式会社

1 沿革

当社は、1884年（明治17年）創業以来100余年の歴史を有する非鉄金属の総合メーカーです。源は明治10年、古河市兵衛による足尾銅山の経営に始まります。市兵衛は電気銅の精製、わが国初の水力発電所の建設、抗内外の電化を始めとして明治の工業史に特筆される技術導入、経営の多角化を進めました。その中で当社は明治29年に横浜電線製造(株)として設立され、大正9年古河鉱業(株)により統合、現社名に改め新発足しました。以来各種電線・ケーブル、銅・銅合金製品の一貫製造と共に、関連する電気、通信、化学、金属、ゴムプラスチック分野の技術開発と設備の拡充・合併を図ると共に、横浜ゴム(株)、富士電機(株)（後に通信部門が富士通(株)として独立）、日本軽金属(株)、日本ゼオン(株)、古河電池(株)などの設立に重要な役割を果たして参りました。更に次々と新会社を分離独立させ現在に至っています。

2 事業内容

当社は100年余にわたる技術の蓄積を基に、エネルギー伝送、光、情報システム、エレクトロニクス、新素材と多角化を推進しています。主要製品は次の通りです。

電線ケーブル部門

裸線、アルミ線、被覆電線、巻線、電力ケーブル、通信ケーブル、自動車用電線、電子機器用配線材、光ファイバーケーブル、電線用付属品、波付硬質ポリエチレン管の製造販売、送電線・通信網・プラント建設等工事

伸銅品部門

銅・銅合金の板、条、管、棒、線製品の製造販売

軽金属部門

アルミニウム・アルミニウム合金の板、条、管、棒、線、加工品、鋳鍛造製品の販売

その他部門

電解銅箔、複合接点材料、金属精密加工品、形状記憶合金、給配電システム、床暖房システム、情報システム、プラスチック製品、磁気ヘッド用磁性材料、超電導材、ヒートパイプ、化合物半導体の製造販売

3 現況

資本金 379億56百万円（昭和63年9月末現在）
 従業員 7,029名 （ “ ” ）
 売上高 4,700億円 （昭和63年3月期）
 本 社 東京都千代田区丸の内2-6-1
 支店・営業所 11 （大阪、名古屋、九州など）
 事業所・工場 8 （千葉、日光、平塚、大阪など）
 研究所 4 （横浜、日光、平塚、千葉）

4 技術開発

当社は、企業スローガン「LINK to 21」のもと、今世紀から新世紀をめざして多様化するニーズに応える技術開発を展開しております。その概要は次の通りです。

(1) 光・情報システム技術

- ・光伝送技術…光通信システム全貌、要素技術
- ・光応用技術…赤外ファイバ応用システム、センサー
- ・システム技術…LAN、ビル管理システム他

(2) エレクトロニクス技術

- ・半導体&デバイス…GaAs インゴット&ウェハ他
- ・回路部材…銅箔、Al基板、CB、ペースト、接点材他
- ・記録部材…メモリデスク ・表示デバイス…EL
- ・カーエレクトロニクス ・放電、冷却技術

(3) 新素材技術

- ・超電導技術…ケーブル、マグネット、未来の応用例
- ・形状記憶合金…素材、デモ用工作物、応用製品
- ・磁性材料…センダスト他 ・ファイナセラミックス
- ・導電有機材料…プラスチック電池他 ・金属複合材

(4) エネルギー関連技術

- ・高密度エネルギー伝送…UHV
- ・システムセキュリティ技術…洞道監視、ロボット他
- ・エネルギーロードレベリング…新型電池、氷蓄熱

5 おわりに

当社は品質重視をベースに得意先の信頼に応えるとともに、今後共時代を先取りした先端技術の開発に力を注いでいく所存であります。

大阪支店所在地：〒530 大阪市北区堂島浜2-1-29
 （文責：電力部技術担当課長 矢島一男）